



郷原桐蔭横浜大教授

## 競争には社会的コストがかかる

総合評価方式を談合防止策に使うのが困難になるという目的で総合評価方式を導入し止策に使うのが問題だ。郷原信郎桐蔭横浜大教授は、「価格だけの競争だと談合でき総合評価方式は談合防止策ではない

る」ため、技術力も審査する」とによつて、談合を「止め」ことを挙げた。まだ、「公正取引委員会は競争させねばならない」発注者が批判しあうコストが安いなると想つてはいるが、競争には費用がかかるという意識が施工に直接關係するのではない。20社、30社がまことに競争すれば、社会縮や防災などアスケル的なコストがかかる」と指摘した。

「談合をやめ、価格を

ファの部分で評価していく下の部分は分かりやすく、他のことは耳を塞がない」最近の社会状況が最大の問題だが、こうした

近視眼的なことだけに発注者が対応していると、公共調達は改革の意図と逆の方向に向かうと警鐘を鳴らした。

土木学会が3月28日に開いた建設マネジメントシンポジウムで述べた。